

本時のねらい

漢字の読み方を覚える。
論説文「私のタンポポ研究」を要約し、内容を理解する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

導入として、オンライン学習ツール（クイズレット）を用いてゲーム感覚で漢字の読み方を覚える。
文書作成ソフト（Google ドキュメント）を活用することによって、文章を書くことやまとめることが苦手な生徒の書くことへの意欲を高め、書く力を育成する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・オンライン学習ツール（クイズレット） ・授業支援ソフト（Google クラズルーム）
・文書作成ソフト（Google ドキュメント）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン学習ツール（クイズレット）を用いて、漢字学習ワークの見開き 2 ページの漢字（20 問）の読み方の学習をする。 ○「私のタンポポ研究」の本文中から本時で要旨をまとめる部分を読み、前時に線を引いた大切だと思う箇所を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いながらも、覚えればよいことを伝えながら行う。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の要旨をまとめるために、前時に線を引いた大切だと思う箇所を文書作成ソフト（Google ドキュメント）でまとめていく。 ○少しずつ推敲しながら、仕上げていく。 ○まとめあげた文章をプリントに書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のタイピング能力によって、アルファベット打ち・平仮名打ちなど決める。 ・アルファベット打ちが苦手な生徒の場合、ローマ字表を使いながら、タイピング練習も兼ねる。 ・入力中に文字数が表示されるように設定しておく。 ・教員と一緒に推敲しながら日本語のおかしいところなどを考えさせながら行う。 ・ドキュメントの文字は大きめ（ポイント 15 くらい）に設定し、漢字を書き写すときは見やすいように拡大する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○出来上がった文章を声に出して読んでみることで、要旨がうまくまとめられているかを確認する。 ○他の生徒の要約も聞く。 ○振り返りを書く。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：クイズレットに取り組んでいる場面



写真 2：要約を打ち込んでいる場面



写真 3：要約した文章を書き写している場面

児童生徒の反応や変容

・クイズレットを用いることで、漢字の学習が苦手な生徒もとても楽しんで取り組むことができた。覚えなければならないことがあると、生徒の方からクイズレットを作ってほしいと言ってくることもある。
・ドキュメントを使って打ち込む場合、何度も訂正がたやすくてできるので、要約するといふかなり難しい課題にも意欲的に取り組んでいた。生徒の振り返りにも「タンポポの文を作って、パソコンにうつてからしたので、たのしかった。またちがうのでしようせんしよと思った。」と書かれていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・毎時ルーティーンとしてクイズレットから授業を始めることで、学ぶ姿勢を整えることができる。クイズレットは漢字の読み方を覚えるのに適しているだけでなく、慣用句・ことわざ・月の異名など様々なことに活用できる。
・文書作成ソフトを使うことで、一度打った文章を何度も容易に書き換えることができるので、推敲し、文章を整えることがしやすくなる。文章をプリントへ書き写すことが困難な生徒は、文書作成ソフトに打ち込んだ文章をそのまま読みながら発表をしたりしている。